

# 令和6年度補助事業の概要 (公益財団法人 日本船員雇用促進センター)

## 1. 船員計画雇用促進支援事業

次世代を担う内航船員の確保・育成を推進するため、新たに船員になろうとする者を計画的に雇用・訓練する海運事業者に対し、船員計画雇用促進支援助成金を支給している。

令和6年度は、予算140名分のところ、67社より219名分の申請があったことから助成額を調整して支給した。

## 2. 船員確保のための情報提供事業

若年船員の雇用促進や船員の確保ルートの多様化を図る国の取組を踏まえ、若者等に船員の仕事・船内生活等を理解してもらえるよう、情報誌「船で働きませんか?」「Let's Work on Ships」を合わせて約9,000部作成し、関係者への配布及びSECOJ Webサイトへの掲載など、あらゆる機会と手段を通じて情報提供活動を行った。

また、学生や学校教員からの要望を受け、船内の居室及び食事を紹介する動画を作成し、SECOJ Webサイト内の特設ページ「リアル船内見学」及びYouTube公式チャンネル「船で働きませんか?」にて公開した。さらに、それらのWebコンテンツを手軽に利用してもらうために、各サイトのQRコードを記載した名刺サイズのカードを作成し、関係先に幅広く配布した。



動画「リアル船内見学 船室・食事編」



動画での船内居室紹介



情報誌「船で働きませんか?」「Let's Work on Ships」



SECOJ QR カード

このほか令和6年度は、国土交通省主催の海技者セミナーに8回参加し、情報提供の他、参加船社及び来場者へのヒアリングを積極的に行い、今後の情報提供の参考とした。

また、全国5か所の海上自衛隊地方総監部における海事セミナー等に参加し、再就職を目指す海上自衛官へ船員職業についての情報提供を行った。さらに、全国の児童養護施設に対し船員職業に関する資料提供を行った。



海技者セミナー神戸 SECOJ ブースの様子